

2024年1月30日
JR九州バス株式会社

路線バスの上限運賃改定の申請について

JR九州バス株式会社は、2024年1月30日、九州運輸局に路線バスの上限運賃改定認可申請を行いました。申請理由および申請概要は以下のとおりです。

ご利用のお客さまには、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

1 申請理由

JR九州バス株式会社では、安全を最優先に掲げるとともに様々な経営改善策を講じながら、2001年の会社設立から現在まで（消費税率引き上げによるものを除く）路線バス運賃を変更することなく輸送サービスを提供してまいりました。

しかしながら、従来から続く少子高齢化やマイカーとの競合に加え、近年の新型コロナウイルス感染拡大による行動変容等の影響もあり、収入面で極めて厳しい事業運営となっております。

一方、深刻な運転士不足に対する要員確保のための待遇改善に伴い人件費は増加しており、さらに、燃料費の高騰等で輸送コストの上昇が続く現状においても、バス車両更新をはじめとする安全やサービスを維持するための投資は、今後も継続して行う必要があります。

こうした厳しい環境の下、地域に欠かせない交通手段として、弊社路線バス事業を将来にわたって持続可能なものとするためには、運賃改定による収支改善が必要との判断に至り、今般、上限運賃の改定を申請いたしました。

2 申請日 2024年1月30日

3 実施予定日 2024年4月1日
(現時点の予定であり、正式な実施日は認可後にお知らせします)

4 申請対象路線 直方線（福岡県）、嬉野線（佐賀県、長崎県）、北薩線（鹿児島県）

5 申請概要

以下、路線毎に申請概要を記載いたします。なお、各路線の実施運賃^{*}は現時点の予定であり、正式には上限運賃^{*}の認可後にあらためてお知らせします。

※上限運賃…事業経営に必要な原価に応じて算出され、バス事業者が収受できる運賃の上限額

※実施運賃…上限運賃の範囲内で、実際にお客さまから収受する運賃額

(1) 直方線

① 上限運賃の平均改定率 24.94%
(実施運賃の平均改定率は14%程度の予定)

② 運賃比較表

	現行運賃	申請上限運賃	実施運賃（予定）
初乗運賃	170円	220円	210円

③ 主要区間の運賃

区間	片道運賃		通勤定期券（1カ月）	
	現行運賃	実施運賃（予定）	現行運賃	実施運賃（予定）
箱崎駅西口～松島1丁目	170円	210円	7,650円	9,450円
博多駅～九大病院・県庁前	190円	210円	8,100円	9,450円
直方駅～福丸	480円	530円	21,150円	23,850円
イオン循環線	170円	210円	7,650円	9,450円

(2) 嬉野線

① 上限運賃の平均改定率 17.70%

(実施運賃の平均改定率は11%程度の予定)

② 運賃比較表

	現行運賃	申請上限運賃	実施運賃（予定）
初乗運賃	160円	180円	180円

③ 主要区間の運賃

区間	片道運賃		通勤定期券（1カ月）	
	現行運賃	実施運賃（予定）	現行運賃	実施運賃（予定）
武雄温泉駅～御船山楽園	170円	190円	6,630円	7,410円
武雄温泉駅～嬉野温泉BC※	670円	740円	26,130円	28,770円
嬉野温泉駅～嬉野温泉BC	160円	180円	6,240円	7,020円
彼杵駅～嬉野温泉BC	550円	610円	21,450円	23,790円

※ BCは「バスセンター」の略

(3) 北薩線

① 上限運賃の平均改定率 34.53%

(実施運賃の平均改定率は10%程度の予定)

② 運賃比較表

	現行運賃	申請上限運賃	実施運賃（予定）
初乗運賃	140円	200円	200円

③ 主要区間の運賃

区間	片道運賃		通勤定期券（1カ月）	
	現行運賃	実施運賃（予定）	現行運賃	実施運賃（予定）
伊敷町～伊敷脇田	140円	200円	5,880円	8,400円
鹿児島中央駅～伊敷町	190円	200円	7,980円	8,400円
伊敷脇田～薩摩郡山	360円	400円	15,120円	16,800円
鹿児島中央駅～上園	420円	470円	17,640円	19,740円

6 安全対策への取り組み

経費の徹底的な削減を進めながらも、「安全」への対策は最優先に実施しています。

- ・ドライブレコーダーの導入と、その活用による運転士の運転特性に応じた安全指導
- ・ドライバー異常時対応システム（EDSS）搭載車両の拡大
- ・バス脱出訓練等、異常時対応訓練
- ・睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査等、健康起因事故防止のための健康管理の徹底
- ・ハザードマップを活用した災害への備え強化 など

今後も日常的な運転士指導・教育を継続的に行うことで安全体質の強化を図るとともに、車両等への安全投資も引き続き実施してまいります。

7 これまでの経営合理化および今後の取り組み

不採算路線の再編やお客さまのご利用状況に応じた運行ダイヤの変更、また、それに伴う必要な車両台数の見直しによる投資額の削減、エコドライブの推進による燃料費の削減などの取り組みを通じて経営改善に努めてまいりました。今後も ICT 技術を活用した業務効率化など、経営合理化に資する取り組みを進めてまいります。

8 サービス向上に向けた取り組み

お客さまの利用特性に応じた割引率の高い魅力ある商品を販売してきたほか、ICT 技術を活用し、さまざまなサービスの提供に努めてまいりました。

【商品】

- ・高齢者向け乗り放題定期券「みのり定期」（直方線、嬉野線）
- ・2日間乗り放題「い2DAY もおでかけきっぷ」（直方線）
- ・学生向け土日祝日乗り放題「嬉野線1日フリー乗車券」
- ・学生向け休日限定回数券「休日学生4枚きっぷ」（北薩線）
- ・MaaS アプリ「my route」の利用により鹿島・嬉野・武雄・太良エリア乗り放題「かぶきフリーきっぷ」（嬉野線）

【サービス】

- ・交通系 IC カード「nimoca」（直方線、嬉野線）、「ラピカ」（北薩線）導入
- ・バスロケーションシステムの導入
- ・スマートフォンで乗車可能な「スマホ定期券」の販売
- ・低床式車両（ノンステップバス）の導入
- ・液晶運賃モニターの導入

今後も、MaaS 等の ICT 技術を活用したサービス向上を図るとともに、運転士の接遇向上によるお客さま満足の向上に取り組んでまいります。